

【件名】中野区立小中学校の再編の検証状況について

【要旨】

区は、学校再編の検証について、再編計画における3つの基本的な考え方(「1. 充実した学校教育のため、望ましい規模の学校をつくります」、「2. 小学校と中学校の通学区域の整合性を可能な限り図ります」、「3. 施設・設備等の整備を進めます」)に基づく主な取組の達成状況や取組の効果を検証することで、学校再編の成果と課題を明らかにすることを目的として実施しているが、これまでの検証状況について報告する。

1 検証の手法

(1) データによる検証

再編計画における基本的な考え方に基づく主な取組の達成度を測るため、再編前後のデータ等を比較することで検証する。

これまで主な取組に関連するデータを収集するとともに、取組の達成度について検証を進めている。

【主な取組と検証に用いる主なデータ】

NO	主な取組	検証に用いる主なデータ
1	小学校と中学校の通学区域の整合性を可能な限り図れたか	通学域の変遷
2	小規模化を解消し適正な学校規模が確保されたか	児童生徒数・学級数の推移
3	35人学級が推進されたか	児童生徒数・学級数の推移
4	変更後の通学の安全対策が実施されたか	安全対策実績
5	教育環境の確保・向上を図るための大規模改修工事又は改築(建て替え)工事が実施されたか	改修・改築工事实績
6	統合により学校施設の維持保全費用が削減されたか	学校施設維持保全費
7	学校活動への影響を考慮した移転ができたか(統合新校移転までの仮校舎活用)	学校配置の変遷
8	片方の学校名ではなく新名称による新設校として設置されたか	学校名称の変遷
9	通学区域、通学距離を考慮した学校の配置が行えたか(小中学校の位置の入れ替え)	通学域の変遷・距離
10	統合新校(小学校)において放課後の子どもの安全で	キッズ・プラザ設置状況

	安心な遊び場が確保されたか	
11	前期計画と比較し統合に向けた十分な協議時間を確保できたか	統合委員会設置状況
12	統合後の円滑なスタートに向けた早期の対応が行えていたか	統合対象校の交流事業実績

## (2) アンケート調査による検証

教育効果、学校運営に関する効果、学校施設に関する効果などを中とした再編の取組による効果を測るため、児童生徒や保護者等に対しアンケート調査を行った。

### ① 対象

全校の児童生徒及び保護者、教員及び再編に関わった区民、地域団体

### ② 調査項目

別紙のとおり

### ③ 調査期間

ア 児童生徒、保護者、教員

令和6年10月31日（木）～11月21日（木）

イ 再編に関わった区民、地域団体

令和6年11月7日（木）～11月28日（木）

### ④ その他

区民向けのアンケートについては、区ホームページや各学校、区民活動センターにおけるポスターの掲示、各町会・自治会の回覧板により周知した。また、学校統合委員会委員や地域学校運営協議会委員など、統合や学校運営に関わる委員に対しても周知した。

### 【取組による効果と関連する主なアンケートの視点】

○教育効果	
一定の集団規模や学級数が確保されたことによる学習指導や学校行事など、集団活動における子ども同士の学び合いや人間関係づくりに関する効果取組による効果	
主なアンケートの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学校の友人関係について</li> <li>・運動会や校外学習などの学校行事について</li> <li>・学校生活について</li> </ul>
○学校運営に関する効果	
一定規模の教員集団が確保されたことによる教職員の負担軽減や指導環境の改善に関する効果	
主なアンケートの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後の学校運営・指導方法等について</li> <li>・通学環境について</li> <li>・保護者や地域住民との関わりについて</li> </ul>
○学校施設に関する効果	

新校舎整備による施設の機能、安全性の向上などの教育環境や統合による施設の維持管理費削減に関する効果

主なアンケートの視点	<ul style="list-style-type: none"><li>・校舎の整備後の教育環境について</li><li>・地域活動、学校開放など地域住民の活動しやすさについて</li></ul>
------------	--

2 今後の予定

令和7年3月 検証結果の報告書の作成

3 検証結果を踏まえた今後の取組の方向性について

検証結果から明らかになった課題を踏まえ、学校規模や教育環境の維持改善に必要な取組を検討し実施していく。